提案
56 ヘルスケア、喫煙防止、研究、法執行機関への資金供給のためのタバコ税。州民発案による憲法改正および法令。

★ 提案 56 の賛成意見 ★

米国癌協会の癌アクションネットワーク、米国肺協会カリフォルニアおよび米国心臓協会は、提案 56 を支持しています。それはたばこ税を課し、禁煙または喫煙をしないよう促すことで命と健康を守ることができるからです。

事実の詳細は *Yes0n56.org.* をご覧ください。

提案 56 に賛成票を投じてください。提案 56 は、子供を喫煙から守り、たばこに関連するヘルスケア費用を削減します。

たばこは、すべての Californian だけでなく、喫煙しない人までをも脅かす致命的かつ費用のかかるものです。

• 毎年、たばこに起因する死亡率は、癌、交通事故、HIV、アルコールと違法ドラッグの混合による死亡率を上回っています。年間 40,000 人の Californians を死に追いやるたばこは、避けることができる死因の #1 です。• 毎年、たばこに関連する医療費の支払いのために、Californian の納税者に $35.8 億が課されます。

同時に、Big Tobacco は、California から十分利益を上げているにもかかわらず、それでも次世代をたばこ依存にしようとしています。彼らは、提案 56 が若い世代の喫煙予防を可能にすることを認識しています。つまり、彼らが数百万ドルを支払い、提案 56: を否決できれば、私たちの支出で利益を上げることができると考えているからです。

提案 56 は、使用料のようなもので、たばこに課税することで、それをたばこに関連するヘルスケア費用に充てることができます。

提案 56 は、たばこと、電子たばこを含む他のたばこ関連製品の税率を引き上げるものです。

課税対象者は、たばこ製品を使用する人のみとし、その税金は喫煙防止のための既存プログラムの支援、ヘルスケア改善、癌やたばこ関連疾患の治療法に関する研究費用に使われます。

提案 56 は、公平な提案です。たばこを喫わない人は、税金の支払いは不要です。

California の納税者は、年間 $35.8 億を納税します。これは喫煙の有無に関係なく一家族 $413 の計算となり、喫煙者の医療費を支払っているのです。提案 56 は、公平性そのものです。たばこ製品の使用料のようなもので、結果的に喫煙を減らし、喫煙者にその医療費を日払わせることができます。

提案 56 は若い世代の喫煙予防を可能にします。

US Surgeon General によると、たばこ税を増税することで、若い世代の喫煙を減らすことができます。それでも、California のたばこ税は、世界でも最低の税率のひとつです。今年だけでもおよそ 16,800 人の California の若者が喫煙をはじめるでしょう。そのうちの 3 分の一 が たばこ関連の 疾患で死亡します。

たばこ税を大幅に増税した州ではいずれも、喫煙率が低下しました。提案 56 は、若い世代が、生涯たばこ依存になるのを防止し、次世代の命を守ります。

提案 56 は、若い世代をターゲットとする BIG TOBACCO の最新の企みと戦います。

電子たばこは、Big Tobacco が子供をニコチン中毒のターゲットに考えた最新製品です。彼らは喫煙者の 90% が十代で喫煙を初めているのを知っているのです。電子たばこを吸う十代の若者たちは、従来のたばこを吸う若者の 2 倍にのぼります。どの大手たばこ会社も、電子たばこのブランドをひとつ持っているのはそのためです。電子たばこの中には、子供をターゲットに Barbie, Minions や Tinker Bell などの人気のキャラクターを使ったり、コットンキャンディーやバブルガムなどのフレーバーが揃ったものもあります。

提案 56 は、たばこ製品と同様に電子たばこにも課税し、依存性が高く、費用がかかる致命的な習慣から子供たちを守ります。

提案 56 は、透明性と説明責任を厳しく追及します。

提案 56 は、経費と管理費に対し独立した監査を実施し厳しく管理します。さらに提案 56 は、政治家が自身の議案に資金使用することを明確に禁じています。

命を守る提案 56 に賛成票を投じてください。

JOANNA MORALES、前議長
米国癌協会 California 支部

TAMI TITTELFITZ、R.N.、リーダーシップ役員会員
米国肺協会 California 支部

DAVID LEE、M.D.、社長
米国心臓協会西部州支部

★ 提案 56 の賛成意見に対する反論 ★

提案 56 は、健康保険会社や他の裕福な特別利益団体に財政上の利得があることを特に定めています。特別利益団体の投票箱の予算案の一例です。*可決のために $1600 万以上がすでに出資されています。*

資金がどこに使われるのかではなく、禁煙をサポートするものであることを強調したいのです。

新税のわずか 13% が喫煙者の治療や子供の喫煙撲滅活動に使われます (提案 56 の第 30130.55(b) 参照)。

新税の 82% 、つまり年間 $10 億 は、保険会社や特別利益団体に支払われ (第 30130.55(a) 参照) 、*患者の治療に使われることはありません。*

ほぼ 10% は、管理費や諸経費に使われます
(第 30130.57(a)&(f))。

提案 56 には、保険会社や他のプロバイダーが資金をどのように使用したかについての納税者の説明責任は実質ありません。CEO およびシニアエグゼクティブは、高収益や税収から報酬を得ることができます。

提案 56 は学校をだますものです。

提案 56 は、California が最低の教育資金を保証することを回避するために州の憲法を改正することで、年間 $6 億以上を学校からだまし取るものです。*実際、学校をだますことが提案 56 が憲法を改正する唯一の理由です。*

特別利益団体は、提案 56 を利用して、学校基金、道路補修や犯罪防止の経費で利益を上げるべきではありません。

金銭の使途については *www.NoOnProposition56.com* をご覧いただき、提案 56 に反対投票を投じてください。

MIKE GENEST、前ディレクター
California 財政部門

TOM BOGETICH、前エグゼクティブ・ディレクター
California 州教育役員会

LEW UHLER、社長
米国税制限委員会

本ページに印刷されている反対意見は、著作者の意見であり、公的機関によってその正確性については調査されていません。

★ 提案 56 の反対意見 ★

禁煙したい人をサポートしますが、提案 56 は、本意とは異なります。

提案 56 は、保険会社とその他富裕な特別利益団体による 14 億ドルの「増税チャンス」で、学校をごまかして、差し迫ったその他の問題を無視することで利益を大幅に伸ばします。

提案 56 では、喫煙者の治療や子供の禁煙活動に割り当てられるのは、たばこ税の収益のわずか 13% のみです。毎年、喫煙者に対してあと 14 億ドル課税するのであれば、それによる治療と子どもたちの禁煙に特化するべきです。

新しく課税される 14 億ドルのほとんどは必要な場所に使われるのではなく、保険会社とその他富裕な特別利益団体に行きます。

提案 56 は、少なくとも年間 $6 億を学校からだまし取ることになります。

California 憲法 (提案 98 から) は、増税の最低 43% を学校に割り当てるよう要求しています。提案 56 は、憲法で学校に資金援助する最低額を保証するよう定めていますが、そうすることで特別利益団体が年間で $6 億以上を学校からだまし取り、保険会社や他の特別利益団体に割り当てることができるのです。*新税での税収は、子供たちの学校の改善には全く使われません。*

提案 56 は、CALIFORNIA の家族が直面する問題の解決にはなりません。

California には、学校への資金援助、道路の補修、干ばつの問題、犯罪防止などの問題が山積しています。*税率を引き上げるのであれば、この新税で得た利益をこれらの問題に使うべきです。*

提案 56 は、保険会社の利益を上げます。

もうひとつの欺瞞的な行為は、保険会社や裕福な特別利益団体が提案 56 を可決するために資金を投じれば、すでに治療を受けている同じ Medi-Cal 患者にさらに $10 億もの治療費を支払うことができます。*資金を得るために Medi-Cal 患者を受け入れることは必要ありません。*

その代わりにより多くの患者を治療できれば、保険会社は最終的な利益を上げ、CEO やシニアエグゼクティブに報酬を与えることができます。*実際は、提案 56 の支出計算では、保険会社や他のヘルスケアプロバイダーに新税の 82% を割り当てることになります。*

提案 56 は、諸経費と官僚機構に年間 $1 億 4700 万以上を費やします。

この $1 億 4700 万は、事実上、納税者への説明責任なく、毎年費やすことができるのです。これは、無駄な巨額費用で、詐欺や不正使用につながる可能性があります。*実際は、提案 56 は、たばこ撲滅対策に費やすのとほぼ同じ額を管理費や諸経費に費やすことになります。*

提案 56 に反対票を投じてください。

裕福な特別利益団体の利益を上げるための主導権プロセスに反対しましょう。

年間 $6 億以上を学校からだまし取る提案に反対しましょう。.

新しい税収が無駄な巨額費用、詐欺や不正使用につながる可能性がある諸経費や管理費に使われるのに反対しましょう。

道路補修、犯罪防止や教育費の資金支援などの問題解決ではなく、保険会社や裕福な特別利益団体に税収が割り当てられるのに反対しましょう。

ご自分でよく読み提案 56 MONEY をフォローしてください。

www.NoOnProposition56.com

私たちと共に、提案 56 に反対票を投じてください。

TOM BOGETICH、前エグゼクティブ・ディレクター
California 州教育役員会

ARNOLD M. ZEIDERMAN、M.D.、M.P.H.、FACOG,
Maternal Health and Family Planning, Los Angeles County Department of Health の前ディレクター

TOM DOMINGUEZ、社長
Orange 郡保安官協会

★ 提案 56 の反対意見に対する反論 ★

提案 56 に賛成票を投じてください。命を守る子供たちを守るたばこにかかる危険な費用を削減する

たばこは、依然として命にかかわる費用のかかる問題です。

• 年間 40,000 人の Californians がたばこ関連の疾患で死亡しています。.• 今年だけでもおよそ 16,800 人の California の子供たちが喫煙をはじめるでしょう • California の納税者は、年間 $35.8 億をたばこ関連の 医療費のために納税しています。これは喫煙の有無に関係なく一家族 $413 の計算となります。

「提案 56 は、喫煙予防のための提案です。子供たちをたばこ依存から守ります。」—*Matthew L. Myers 社長は Tobacco-Free Kids* のキャンペーンを打ち出しました。

提案 56 は使用料のようなものです。喫煙者がヘルスケア費用の支払いのために公平な納税をします。

提案 56 では、納税者が毎年支払う $35.8 億の たばこ関連のヘルスケア費用をたばこ利用者が支払います。

提案 56 では、諸経費などを政治家が個人の案件に使用できないように、資金を守るため、説明責任と透明性が厳しく要求されます。

提案 56 では、たばこを喫わない人は、税金の支払いは不要です。

公平な提案です。納税者に支払わせるのではなく、喫煙者が自分の医療費を払うときです。

BIG TOBACCO の嘘を買わない提案 56 は、学校をだましません。

たばこ会社は、長年、たばこの危険性について嘘をついてきました。現在、その嘘に高額を支払っています。私たちの子供や孫の健康も脅かされる可能性があります。命と健康を守りましょう。

「提案 56 は十分考えて結論を出しました。この提案は、危険で依存性の高いたばこから子供たちを守り、教育資金を保護します。」—*Chris Ungar, California 学校役員会協会会長*

提案 56 に賛成票を投じてください。

STUART COHEN、M.D.、M.P.H.、地域理事
米国小児科学会 , California

LORI G. BREMNER、California グラスルーツディレクター
米国癌協会・癌アクションネットワーク

ALEX M. JOHNSON、エグゼクティブ・ディレクター
児童保護基金 —California

本ページに印刷されている反対意見は、著作者の意見であり、公的機関によってその正確性については調査されていません。